

## AI・IoTの活用を支援します！

近年、AI（人工知能）やIoTといった最先端のテクノロジーが急速に広まっています。この新しいテクノロジーは、製造業や建設業をはじめ、農林水産業やサービス業、医療・福祉分野などのあらゆる場面で利用されており、県内企業にとっても新たなビジネスチャンスとなっています。

県では、これらのテクノロジーを活かし、生産性の向上や新たなサービスを創造する環境をつくるため、AIやIoTを手軽に体験し、導入に向けた相談などの支援が



△ 県内企業もAI・IoTを活かして世界で活躍



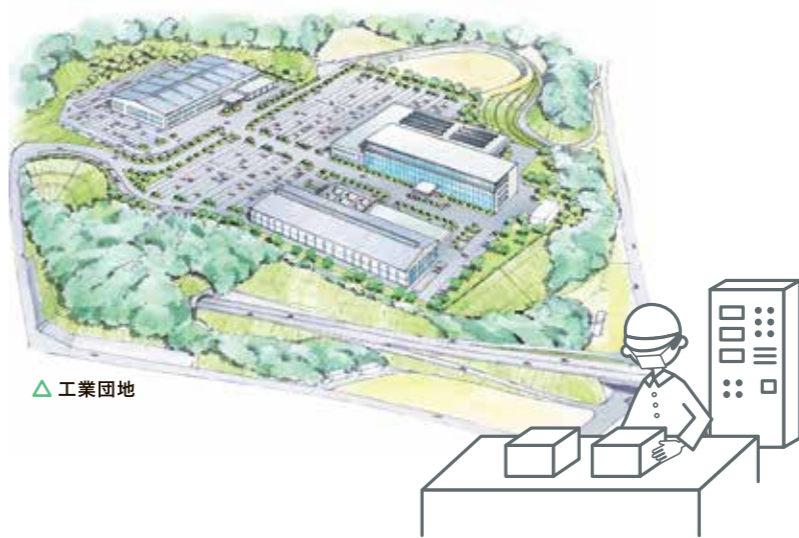
△ (株) オプティムとAI・IoT活用推進の包括連携協定を締結

受けられる「産業スマート化センター（仮称）」を設置します。このほか、県内における実証実験の実施やAI・IoTを活かした佐賀県産品の映像制作などに取り組み、AI・IoTの活用を進めていきます。

● IoTとは、Internet of Thingsの略で、様々な「モノ」がインターネットにつながり、情報のやり取りを行うことにより相互に制御する仕組みのことです。

## 産業用地を整備して、企業誘致を進めます

県では、地域経済の活性化や魅力ある雇用の場の創出を進めるため、企業誘致に取り組んでいます。近年、企業の立地が順調に



△ 工業団地

進んでおり、新たに立地してもらったための産業用地は残りわずかとなっています。そのため、市や町が行う中規模の産業用地の開発を引き続き支援するとともに、大規模な産業用地を確保するため、大規模な開発が可能で、企業の立地に適した用地を県内一円で調査することとしました。

この調査結果をもとに、新たな産業用地を整備し、さらなる企業誘致を進めていきます。

## さかの未来を担う人材を確保するため、企業の採用力UPを支援します！



現在、少子高齢化などにより、全国的に人材の確保が難しくなっています。

県内企業からも、「人手が足りない」「必要な人材が見つからない」という悩みを聞くようになりました。県内の高校生は、卒業などをきっかけに約半数が県外に進学・就職しています。人材の流出傾向が特に強い佐賀県にとって、人材確保は大きな課題です。



未来を担う人材を確保するためには、労働環境や労働条件の改善のほか、採用活動の工夫や働く側が魅力を感じるような企業情報の発信などに取り組みする必要があります。

こうした採用に関するノウハウを身に付けるセミナーの開催や専門家派遣による企業ごとの個別支援を通じて、企業の採用力向上を支援します。

## 「宝の海」有明海の水産資源の回復を目指して

有明海は、タイラギやアゲマキ、ウミタケ、サルボウなど、多様な生物を育む「宝の海」です。

近年、漁場環境の悪化などにより、漁獲量が大きく減少しています。これまで、県では、稚貝（貝の子ども）などを直接海に放す種苗放流など、水産資源の回復に向けて取り組んできました。

特に、アゲマキは、稚貝の放流を続けてきた結果、貝が増え、漁獲できるサイズまで

成長してきたことから、22年ぶりに漁を再開することができました。

また、今年度からは、タイラギやウミタケについて、親となる母貝を増やして資源を回復させるため、卵から稚貝を育てる技術や放流した稚貝の生存率を高める技術の開発に取り組んでいます。

これからも、「宝の海」を次世代に引き継いでいくため、有明海の再生に取り組んでいきます。



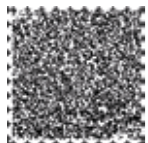
△ 有明海



△ アゲマキ

### 詳しくは

【人材採用】産業人材課 ☎0952-25-7100 ✉sangyoujinzai@pref.saga.lg.jp  
【有明海再生】水産課 ☎0952-25-7144 ✉suisan@pref.saga.lg.jp



### 詳しくは

【AI・IoT】産業企画課 ☎0952-25-7251 ✉sangyoukikaku@pref.saga.lg.jp  
【企業誘致】企業立地課 ☎0952-25-7097 ✉kigyouricchi@pref.saga.lg.jp

